

2011年華語国際特別集会

標語

語る神は、人をご自身のかたちに創造し、人が神のために語ることによって、
彼を表現し、彼を代行することを願っています。

神の言葉の美しくする機能は、
召会が整えられて、キリストの栄光の花嫁となることです。

神の言葉の殺す機能は、
召会が神の団体の戦士として機能し、彼の敵を殺すことです。

わたしたちは正しい、正常なクリスチャン生活、
すなわち預言する生活をして、
召会の集会で適切な語る者とならなければなりません。

わたしたちはキリストの言葉をわたしたちの内に豊かに住ませるなら、
そして神のために語るなら、神の言葉は成長し、増殖し、打ち勝ちます。

2011年華語国際特別集会

(2011年2月18日—20日)

主題：神の言葉を語る

メッセージ 1

語る神は、人が彼のために語ることを願う

聖書：ヘブル 1:1-3. ヨハネ 1:1, 14, 18. 創 1:26-28

I. 聖書はまず神を啓示し、次に神の言葉を啓示します。こうして、聖書にはまず神があり、次に神の語りかけ、彼の口から出る言葉があります——創 1:3. ヘブル 1:1-2 前半. マタイ 4:4 :

- A. 宇宙における実際の中心は神であり、神の表現は言葉です。神のすべての要素は彼の言葉の中にあります——創 1:1, 3. ヨハネ 1:1。
- B. もし神が何も語ったことがなかったなら、宇宙が存在することは不可能であったでしょう。わたしたちの存在は神の語りかけにかかっています——ヘブル 11:3. II ペテロ 3:5. 詩 33:6, 9. 創 1:26。
- C. わたしたちが救われること、永遠の命を受けることは、完全に神の語りかけにかかっています——I ペテロ 1:23, 25. ヨハネ 5:24。
- D. 神は彼の語りかけの中でご自身を啓示しました。神は啓示された神です。なぜなら、彼は語りかけによってご自身を啓示したからです——ヘブル 1:1-2 前半。
- E. 神の言は神ご自身です。なぜなら、神と言は一であるからです。わたしたちは神の言としての聖書に来るときはいつも、神に来るべきです——ヨハネ 1:1. 5:39-40. II テモテ 3:16。

II. 神格において、キリストは言です——ヨハネ 1:1 :

- A. キリストは言として、神を解釈し、説明し、表現します。ですから、キリストは言として、神の解釈、説明、表現です——18 節。
- B. この言は、実は神ご自身であり、隠され、秘められた、奥義的な神ではなく、解釈され、説明され、表現された神です——1, 14, 18 節。
- C. 言は神全体であるという事実は、言が三一の神の語りかけのためであることを意味します。言は人として肉体と成り、人、イエス・キリストは神の言、神の語りかけでした——1, 14 節. 6:63。
- D. 神の言であるキリストは、地上にいて神のために語り、人々を教えていたとき、ご自身から語りませんでした。彼の教えはご自身のものではなく、御父が彼に教えたことにしたがっていました——7:16. 8:28 後半. 12:49-50。

III. 神の新約エコノミーにおいて、語る神は御子の中で語ります——ヘブル 1:1-2 前半 :

- A. 今日、神は多くの部分において、あるいは多くの方法でわたしたちに語るのではありません。神はひとりのパーソン、すなわち御子の中でわたしたちに語ります。神は今や御子の中で語っており、御子は神の言です——2 節前半. ヨハネ 1:1, 14, 18。
- B. 語る御子は、神の言また神の語りかけであり、その霊です——6:63. I コリント 15:45

後半．Ⅱコリント 3:17 前半：

1. 御子は語るときはいつも、語る霊です——啓 2:1, 7 前半。
 2. 神は御子の中で語り、語る霊としての御子は諸召会に語り、究極的にその霊は召会と共に語ります—— 22:17。
- C. 御子は彼の力ある言葉によって、万物を維持し担っています。彼が語る時、あらゆるものは整然とします——ヘブル 1:3。
- D. 今日、神の御子はもはや単に個人ではありません。彼は団体の、宇宙的な人、キリストのからだです。こういうわけで、からだのすべての肢体は神の言葉を語ることができます——Ⅰコリント 12:12. エペソ 5:30：
1. 神は今日、彼の御子の中で継続して語っています。御子は拡大されて団体の人、キリストのからだとなりました——Ⅰコリント 12:12. エペソ 2:15. ヨハネ 17:20。
 2. わたしたちはみな、神の御子キリストのからだの肢体です。こうして、わたしたちが語る時、神は御子の中で語っています——Ⅰコリント 12:12, 27. Ⅱコリント 4:13. 5:20。
 3. 神の長子は神の言であり、神の発言であって、神を語り分与して、彼の永遠のエコノミーを完成します。そのように、神の多くの子たちは神の言葉の肢体であり、神の発言であって、神を語り分与して、神を拡大し、キリストを増し加えます——ヨハネ 1:1. ローマ 8:29. ヘブル 2:10：
 - a. 神の長子は神の発言であり、わたしたちは多くの子たちです。これが意味するのは、すべての子たちが神の発言であり、神が拡大を持ち、キリストが増し加わりを持つためであるということです——使徒 8:4. ヨハネ 3:30, 34。
 - b. わたしたちが神のために語るのは実を結び、神を増殖させ拡大させるためです—— 15:5。

IV. 語る神は、人が彼のために語ることを願っています——創 1:26：

- A. 神がご自身のかたちに人を創造したのは、人が神のために語ることによって、彼を表現するためです—— 26 節. 2:19-20：
1. 神が人を創造したとき、第一のすばらしい事は、彼が人の内側に霊を創造したことであり、第二は、人に語る能力が与えられたことです—— 7, 19-20 節。
 2. 神はご自身のかたちに人を創造しました。神のかたちの最も重要な面は、神が語るということです—— 1:26-27：
 - a. 神は語る神ですから、彼はご自身のかたちに人を創造したとき、語る能力をもって人を創造しました——Ⅰコリント 2:13. Ⅰテサロニケ 2:2, 4。
 - b. 神がわたしたちを創造したのは、愛、光、聖、義を持つことで彼のようにするためだけでなく、語るができることで彼のようにするためでもあります——創 1:26-27。
 - c. 人の語る能力は、人が神のようになることの現れです—— 26 節前半。
 3. 神は人が彼の言葉を語って、彼を表現することを求めています。神は、わたしたちが彼を表現することを願っています。それはおもに、彼のために語ることを通してです——Ⅱペテロ 2:5. Ⅰコリント 12:3。
- B. 神が人を創造したのは、人が彼のために語ることによって彼を代行するためです

——創 1:26, 28 :

1. 代行することの最も重要な要求は、人が語るができなければならないということです。わたしたちが神を代行することができるのは、神が語るように、わたしたちが語るができるからです——Ⅱ コリント 5:19-20。
 2. 代行する者は、自分が代行する人の言葉を語るべきです。わたしたちは神の代行として、神の言葉を語ることによって神を代行します——ヨハネ 7:16-18. 12:49-50. 使徒 4:29, 31. 13:44, 48-49. Ⅰ テサロニケ 2:13。
- C. わたしたちは神のために語るために、神の言葉の全き知識を持ち、神の言葉に関する主要な項目を知る必要があります——Ⅰ テモテ 1:4. ヨハネ 1:1. 6:63. エペソ 6:18. 詩 119:105. マタイ 4:4. 13:3. Ⅰ ペテロ 1:23. 申 32:2. ヘブル 4:12. エレミヤ 23:29。

© 2011 Living Stream Ministry